

## 大学生らが海上自衛隊下総基地の職場見学



海上自衛官制服を試着する  
参加者たち



気象班で気象予報官から説明を受ける参加者たち



隊員が使用するポンベ体験をする参加者

神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 近藤一空尉）は7月23日（火）海上自衛隊を目指す大学生ら受験予定者9名を下総基地見学会に招待した。当日はマイクロボスで基地内を移動し各部隊の実際の職場（地上救難班、管制塔等）に足を運び、各職種の隊員から仕事内容の説明を聞いたり、機器の見学をしたりした。

気象班では砕氷艦「しらせ」に乗り組み、南極行動を経験した隊員から「物資運搬でヘリを運航する際には天候がとて重要となるので、パイロット達から頼りにされていた」と当時の勤務について貴重な話を聞くことができた。地上救難班では実際に隊員が使用するポンベを背負う体験もすることができた。体験した参加者は「地上救難班が希望なので、実際の装備に触れることができて嬉しいです」と目を輝かせて隊員と交流していた。格納庫ではP-3Cを見学しながらパイロットから話を聞いたり、海上自衛官の制服を試着したりとバラエティに富んだ体験をした。また、普段立ち入ることのできない管制塔にも上がることで、参加者たちは滑走路が一望できる管制塔の眺めに感嘆し、管制官からの説明に熱心に聞き入ったり、管制に必要な機器に実際に触れたりと管制業務に興味津々の様子であった。

見学終了後に参加者から「知らない職種が沢山あって驚きました。見学会に参加して色々知ることができて良かったです」と嬉しい感想があった。

市ヶ尾募集案内所は「海上自衛隊の詳しい職種を理解してもらえら有意義な見学会となった。各職種の隊員と直接交流できたことで受験予定者のモチベーションを上げることができた。今後も各受験者のフォローを継続し、着実に入隊へつなげていきたい」としている。

## 防衛大学校受験希望者に対する説明会



小林学生の説明を熱心に聞き入る受験希望者と保護者

自衛隊神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 浦川2陸尉）は、8月15日（木）平塚地域事務所内においてこの春、防衛大学校に入校した小林七海学生を招き、防衛大学校受験希望者3名及び保護者1名に対して、防衛大学校制度説明会を実施した。

小林学生は、受験対策、学生舎生活、校友会活動、各種訓練などを中心に自己の経験を交えながら懇切丁寧な説明を実施し、受験希望者の疑問や不安の解消に努めていた。特に受験勉強の方法や試験の傾向と対策、分析など1年前を思い出しながら説明する小林学生と、熱心に聞き入る受験希望者及び保護者の姿が印象的であった。

小規模の説明会ではあったが、質疑応答は白熱し、当初の計画では2時間であった説明会は4時間にも及び大盛況のうちに閉会した。

平塚地域事務所では「今後も対象者及び保護者目線に立ち、より密着した募集広報活動を実施するとともに、防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高め、入隊・入校者の確保にもつなげていく」としている。